

スタートライン～新しい風～

作詞・作曲・唄 馬場 俊英

もうダメさ これ以上前に進めない
 そんな日が 誰にだってある
 だけど 雨でも晴れても何でもいつでも
 その気になりゃ 何度でもやり直せる 何度でも

これからのことを思うと 負けそうになる
 心配なことがあって しゃがみそうになる
 あと少しだけ もう少し 強くならなくちゃ
 でも 大切なことはいつも 誰も教えてくれない

だから そうだよ
 くじけそうな時こそ 遠くを見るんだよ
 チャンスは何度でも 君のそばに
 この道の先に 何が待ってるのか なんてこと
 わかるわけない

答えがあっても無くても Yes でも No でも
 決めた道に行くしかないさ あるだろ?そんな時

青春と呼べた 時代は過ぎたのに
 今でも心の奥に 風が吹き抜ける
 優しい人にばかり 悲しみが降りかかる
 報われないことが ここには多すぎる

だけど そうだよ
 どんな時も 信じることをやめないで
 きっと チャンスは何度でも 君のそばに

だから そうだよ
 くじけそうな時こそ 遠くを見るんだよ
 見えないこのスタートラインから またここから

きっと そうだよ
 いつかきっと 真心が何かに変わるんだよ
 そうさ チャンスは何度でも いつも君のそばに

いつも君のそばに

今回行われた、
 学年末テスト
 (卒業テスト)
 では、どうだっ
 た? うっかりミ
 スはなかった?
 漢字間違い(誤
 字)、写し間違
 い・・・等々

新型コロナウイ
 ルスが猛威を振
 るっている!
 無暗に繁華街に
 行ったり、夜更
 かしをしなよう
 に。健康管理も
 生きた学力だ!

さあ私学(公立)2022年度高校入試 答案づくりのポイントはここだ!前半

明暗を分ける「1点」・合格への布石「読みやすい字」

〈過去の新聞記事からの抜粋〉

- 大切なのは、これまで培ってきた学力を試験場で存分に発揮するためのポイントをつかむことだ。その第一にあげられるのは「答案づくり」だ。受験生と採点者を結ぶものは答案しかない。「採点者にきちんと読んでもらい、正しく評価してもらおう」ことが、合格を勝ち取るための最大の布石といえよう。
- ある中学校の進路指導担当の先生はいう。「ひとつの学校を受ける生徒の学力レベルは紙一重、横一線といっても過言ではない。そうした入試状況の中で明暗を分けるのはわずか1点。さらに突き詰めれば、その1点の開きは答案づくりの違いでもあるのです」と。読んでもらえる文字・数字を書こう。クセ字や紛らわしい文字が多くてはとうてい読んでもらえない。採点者は読みづらい答案を判読してまで点数を与えてくれるようなことはしない。
- 設問の内容をきちんと把握しないまま答案を書くのも減点の対象。例えば「記号で答えよとあるのに文章で答えたり、「正しいものに○印」をつけるところを「間違っているものに×印」をつけたりするというのがそれである。正しい知識を持っていても設問の指示通りの答えでなければ得点にはならない。とにもかくにも、こうしたミスをする要因は問題文や設問の意味を正しく読み取っていないことに尽きる。
- それを防ぐ一番の手立てとして、堺市内の進学塾の先生は「答案用紙が配られても、すぐに鉛筆を持たず、目を閉じ深呼吸をして気持ちを落ち着けてから、やおら目をあけて心静かに問題を1番から順に最後まで読み通す。解けそうな問題から順に確実に解くようにすれば大きなミスはないはず」とアドバイスしている。
- 1時間目の試験でミスをして、次の時間まで引きずって力が発揮できなかったというケースもよくある。例えば1時間目の国語でつまづいたことが心から離れず2時間目の数学の試験中も頭の中は国語のミスのことといっぱい。結局、数学でも力が出し切れず、3時間目、4時間目と時間だけがむなしく過ぎていくという類の失敗である。

試験時間ごとに気持ちを切り替えて、集中しなければ実力は十分に発揮できないのは当然であろう。済んだことは忘れて気力をふりしぼり次の試練に立ち向かっていくことが大切なのだ。
- もう1つ、入試直前の君に言いたいのは「ベストコンディションで入試に臨めるように体調を整える」こと。風邪をひかないように、また暴飲暴食を慎もう。そのうえで「合格したい」という強い意志、気力をたぎらせながらも慎重に、落ち着いて入試に臨むならば、合格は向こうから近づいてくるに違いない。がんばれチャレンジャーたち。

さあ私学（公立）2022年度高校入試

小さなミスを積み重ねるな！！

答案づくりのポイントはここだ！後半

＜昨日の新聞記事をまとめると＞

- ① 問題用紙が配られるまで、心を落ち着けて静かに待つ。
- ② 用紙が配布されたら、注意事項をよく読み、監督の先生の指示に従う。
- ③ すぐに鉛筆を持たずに、目を閉じ深呼吸をしてから、必ず最初に受験番号と氏名を丁寧に楷書で書く。
- ④ 問題用紙はまず全体をひと通り最後まで読み通し、易しそうな問題、得意な問題から確実に解いていく。
- ⑤ 難しい問題、苦手な問題（領域・単元）は後に回して、最後にゆっくり考える。
- ⑥ 手間取ったときは、次の問題に進もう。
- ⑦ 国語の作文などの時間は必ず残しておくこと。白紙での提出は何としても避けること。
- ⑧ うすい字、小さい字、読めない字は駄目。まる字、マンガ字は禁物。
- ⑨ メモや覚書を解答用紙に書かないこと。
- ⑩ 文字の大きさを統一すること。
- ⑪ ときどき時計を見て、時間配分を考えて進める。
- ⑫ 解答は教科書に出てきた用語で答える。＜教科書が漢字なら、なるべく漢字でネ＞
- ⑬ 指示のない限り、自信のない漢字は使わない方がよい。
- ⑭ 不鮮明な文字は減点されるので、完全に消してから書き直す。
- ⑮ 読みづらい答案を判読してまで点数は与えてくれません
- ⑯ 解答方法をよく確認してから解答する。記号で答えるのか、語句なのか文章で答えるのかなどよく確かめて、要求されている方法で答える。
くとにかくケアレスミスをしなさいこと。解けても、もう一度再確認することだ。 それと、休憩時間に友達と一緒に答えあわせを絶対にするな！
- ⑰ できたら、もう一度よく見直す。考え違いや早合点によるミスはないか正しい文字、数字、単位、記号の書き方で答えているかを調べる。
＜単位やピリオドが抜け落ちたり、大文字小文字を間違ったり、面積や体積の問題で2や3で割るのを忘れたり、理由を書きなさいと問われて「・・・だから」と答えなかったり、解答の記入場所をまちがったり・・・等々。＞
- ⑱ 満点をとろうと考えなくてもよい。自分の力を十分に発揮し、解けるものは確実に解くという心構えで受験する。（君が難しと感じた問題は、会場にいるみんなも同じように感じているから、心配するな）
- ⑲ 休憩時間に友だちと答え合わせをしない。次の科目にミスを引きずる。
- ⑳ 健康管理。最後まで努力する意志と気力「心の健康」

体調管理には、くれぐれも気を付けること！

最後に携帯電話（スマホ等）の所持は不正行為とみなされますので

面接のシミュレーションを！

- ◆進路通信「面接ガイドPART①～⑤」をもう一度、熟読すること。校長・教頭先生から受ける面接アドバイスをしっかりと心に刻んでおくこと。
また、面接ガイドの質問に対する、ある程度の答えは準備しておくこと。

特に「志望理由・進学先での抱負」はね！

- ◆最後に、君たちの定期テストの受け方を見ていて、一番心配することは、・・・
ペーパーテストの失敗は心配していない。この生徒は、ここでミスするだろうことは、君たちの実力テストの結果から私学は判断できる。一番心配することは、**受験態度だ！**

- ①遅刻、服装が乱れている、ゴソゴソと落ち着かない態度。
- ②出来たからとキョロキョロしたり、机にうつ伏せたりする。
- ③不正とも判断されそうな紛らわしい行動をとる。

それを一番心配します。

椅子にふんぞり返って偉そうな態度で、座るなよ！！

PS

とある校長先生が言ってましたよ、「高校で何をしたいですか」の質問に「アルバイトをします」と答えたとか・・・それは、あかんやろ！！

◆今年度は、オミクロンで、面接を中止する私学が多い。でも面接が中止になったからといって安心しないこと。その分、教科テスト中の受験態度、休憩中の立ち振る舞い、登下校の服装などなど、面接がない分、注意深く見られていると思ってください。

◆スマホは、持参しない。所持は不正行為です。休憩中にトイレで見つかったなどが無いようにね。受験校付近で、歩きスマホしていて、高校の先生から「君！キミ！」などと声をかけられるなよ！

もし、間違っって持参したときは、高校の正門に入る前に、電源を切り、カバンの奥底にしまうこと。絶対にカバンの奥底から取り出すな！！

公立の場合、所持は不正行為です。（謝罪して、預けるのが一番）